

2020年12月期
決算説明会

2021年2月19日

株式会社ソディック

I. 2020年12月期 決算概要	3
II. 2021年12月期 業績予想	22
III. 株主還元	27
IV. 中期経営計画	29

(参考資料)

I. 2020年12月期 決算概要

II. 2021年12月期 業績予想

III. 株主還元

IV. 中期経営計画

(参考資料)

業績ハイライト



- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により放電加工機の販売が大幅に減少
- ✓ 生産台数減少に伴う工場の収益性低下等により、営業利益は前年同期比約46%減少
- ✓ 第4四半期においては主に中国にて放電加工機・射出成形機の販売が想定よりも伸長し、通期予想を上回る結果

(百万円)

	2019年12月期		2020年12月期		前年同期比 増減		2020年12月期通期予想 (11/13修正)	
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	金額	利益率
売上高	67,591	-	58,030	-	△9,561	△14.1%	55,400	-
売上総利益	22,169	32.8%	18,250	31.4%	△3,919	△17.7%		
営業利益	3,422	5.1%	1,852	3.2%	△1,569	△45.9%	1,300	2.3%
経常利益	3,558	5.3%	2,046	3.5%	△1,511	△42.5%	1,300	2.3%
当期純利益	2,002	3.0%	1,346	2.3%	△655	△32.7%	750	1.4%
	売上高比率		売上高比率					
設備投資額	6,561	9.7%	2,448	4.2%			4,500	
減価償却費	3,664	5.4%	3,399	5.9%			3,800	
研究開発費	3,483	5.2%	3,220	5.5%			3,400	
期中平均 為替レート	ドル	109.03 円	106.76 円	2.27円 円高	106.50 円			
	ユーロ	122.03 円	121.88 円	0.15円 円高	121.50 円			
	人民元	15.77 円	15.48 円	0.29円 円高	15.40 円			
	パーツ	3.52 円	3.42 円	0.10円 円高	3.40 円			

※参考情報 2020年12月末 為替レート ドル：103.50円 ユーロ：126.95円 人民元：15.88円
2019年12月末 為替レート ドル：109.56円 ユーロ：122.54円 人民元：15.67円

パーツ：3.44円
パーツ：3.63円

業績ハイライト（四半期別）



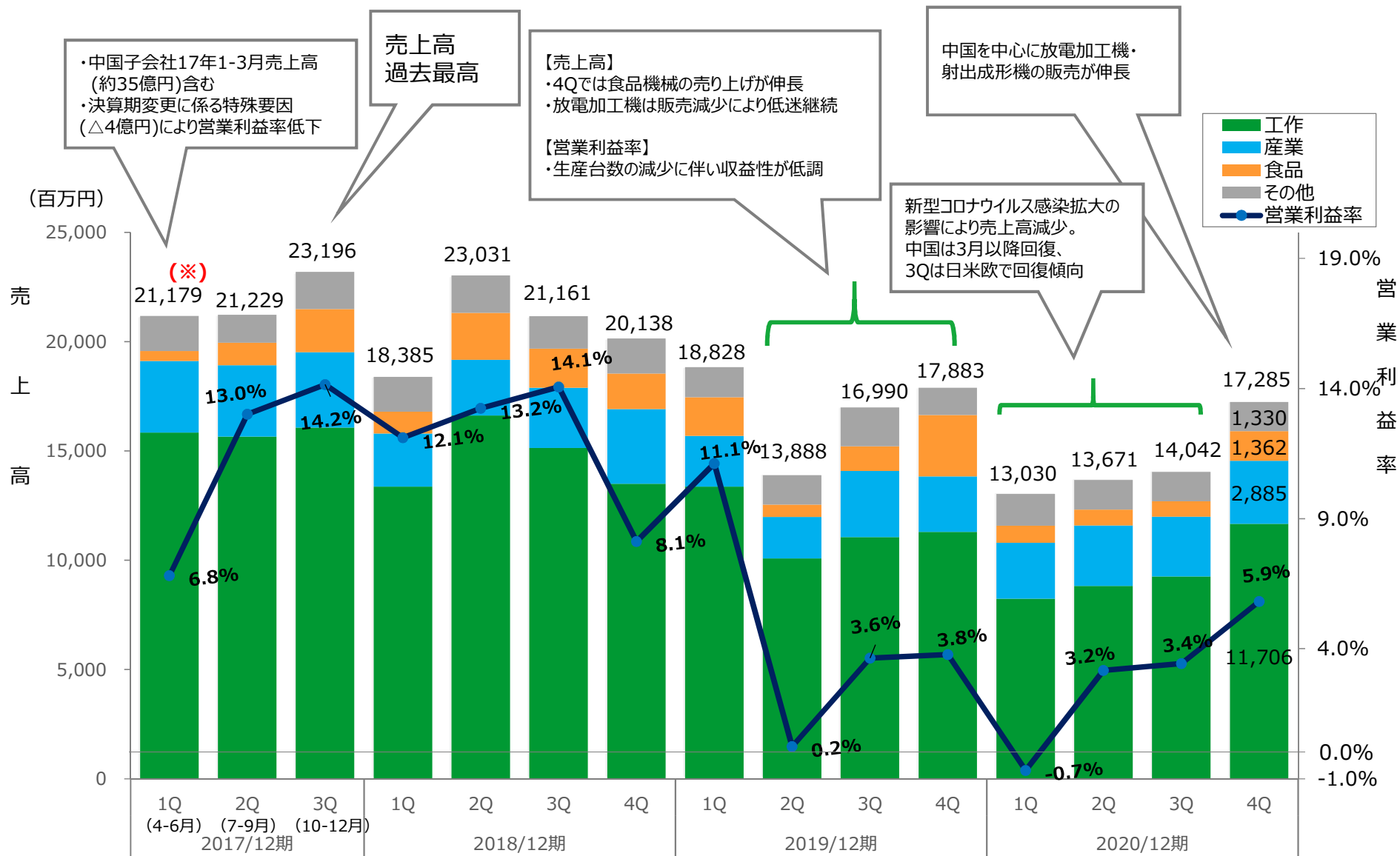
- ✓ 第1四半期をボトムに業績回復
- ✓ 第4四半期は中国を中心に放電加工機及び射出成形機の販売が伸長し、売上高増加。利益率も改善

(百万円)

	2020年12月期							
	1Q (1-3月)	利益率	2Q (4-6月)	利益率	3Q (7-9月)	利益率	4Q (10-12月)	利益率
売上高	13,030	-	13,671	-	14,042	-	17,285	-
売上総利益	4,073	31.3%	4,358	31.9%	4,427	31.5%	5,390	31.2%
営業利益	△88	△0.7%	433	3.2%	481	3.4%	1,025	5.9%
経常利益	△67	△0.5%	430	3.1%	530	3.8%	1,153	6.7%
当期純利益	△18	△0.1%	124	0.9%	513	3.7%	727	4.2%

期中平均 為替レート	ドル	108.86 円		108.23 円		107.55 円		106.76 円	
	ユーロ	120.08 円		119.31 円		120.93 円		121.88 円	
	人民元	15.60 円		15.38 円		15.37 円		15.48 円	
	バーツ	3.48 円		3.43 円		3.41 円		3.42 円	

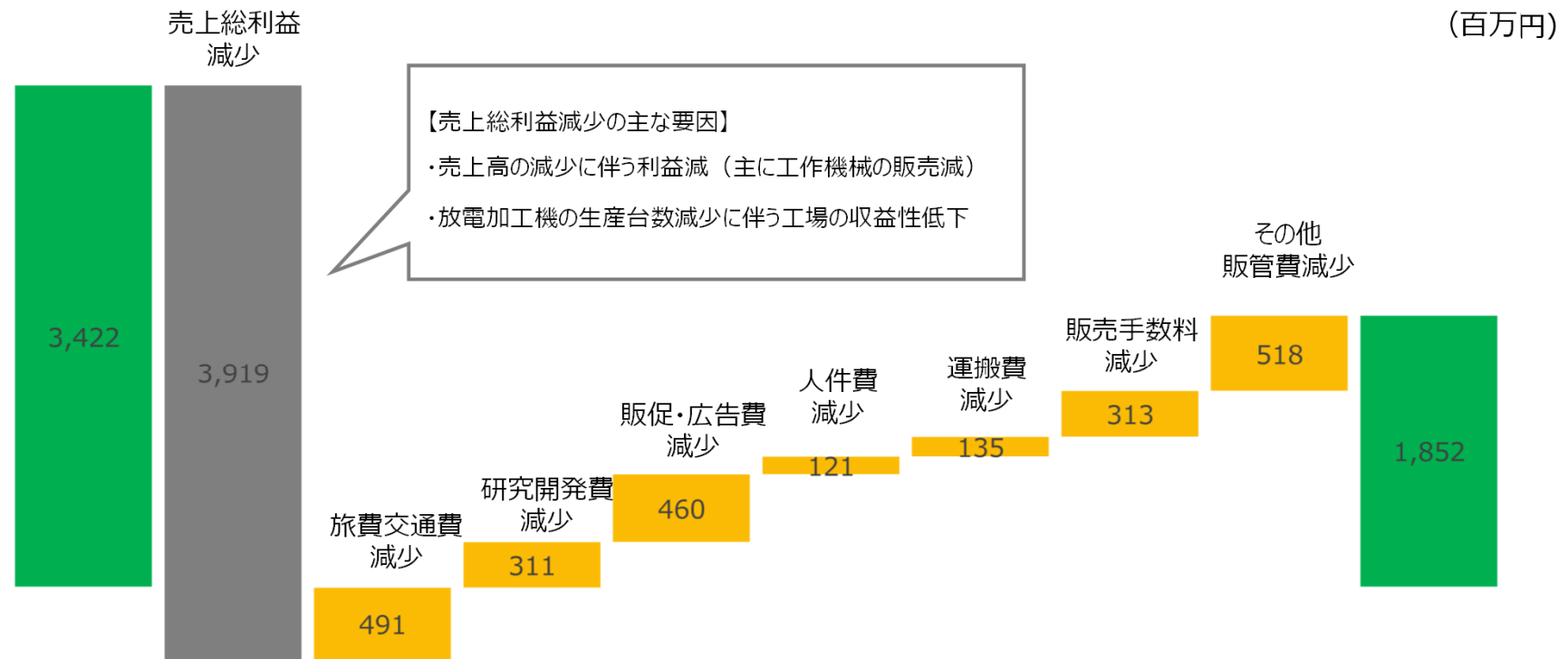
売上高・営業利益率推移（四半期毎）



(※) 決算期変更による変則決算のため、中国12月決算会社の17年1-3月の数値含む。

営業利益増減要因

- ✓ 出張制限による旅費交通費の減少、展示会中止による販促・広告費の減少、残業減少による人件費の減少など、販売管理費全体としては約23億円減少するも、売上高の減少等に起因する売上総利益の大幅な減少により、営業利益は18億52百万円。



【売上総利益減少の主な要因】

- ・売上高の減少に伴う利益減（主に工作機械の販売減）
- ・放電加工機の生産台数減少に伴う工場の収益性低下

2019年12月期
(実績)

2020年12月期
(実績)

セグメント別業績



(百万円)

		2019年12月期	2020年12月期	増減		2020年12月期 通期予想 (11/13修正)
		実績	実績	(額)	(率)	
売上高	● 工作機械事業	45,797	38,024	△ 7,772	△17.0%	35,700
	● 産業機械事業	9,773	10,931	1,157	11.8%	10,200
	● 食品機械事業	6,283	3,585	△ 2,697	△42.9%	3,900
	● その他事業	5,737	5,488	△ 248	△4.3%	5,600
			67,591	58,030	△ 9,561	△14.1%
セグメント 利益	● 工作機械事業	4,621	2,896	△ 1,724	△37.3%	2,400
	● 産業機械事業	165	596	431	261.5%	400
	● 食品機械事業	625	65	△ 559	△89.5%	180
	● その他事業	311	319	8	2.7%	400
			5,723	3,878	△ 1,844	△32.2%
調整額		△ 2,301	△ 2,025	275	—	△ 2,080
営業利益 合計		3,422	1,852	△ 1,569	△45.9%	1,300

セグメント別業績



(百万円)

■ 工作機械事業

【売上高】

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全世界的に景気が大幅に減速。
- 自動車、電子部品、航空宇宙等幅広い産業での事業活動停止等による製品出荷後ろ倒し、設備投資先送りの傾向あり。
- 3月以降中国で5G、半導体関連需要回復継続。
- 日・欧・米・アジアも年後半にかけて持ち直し傾向。

【セグメント利益】

- 売上高の減少及び生産台数減少による工場の収益性低下等により前期比大幅減少。
- 4Qでは売上回復し、利益も増加

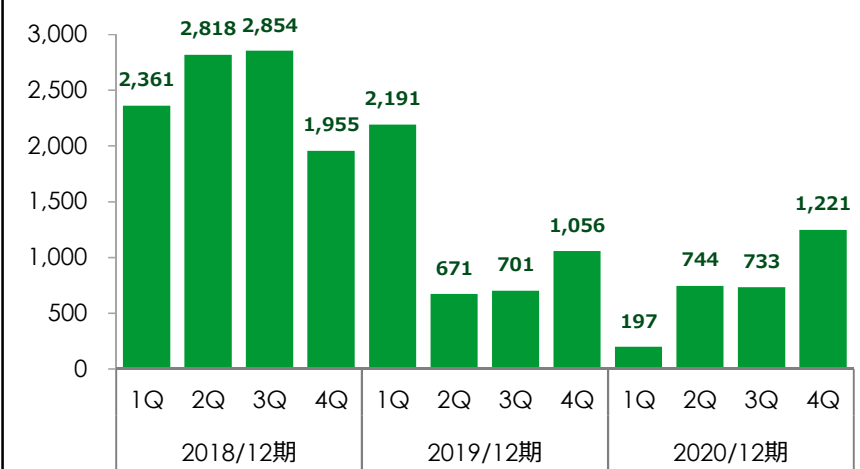
(百万円)

	2019年 12月期	2020年 12月期	増減	
			額	率
売上高	45,797	38,024	△ 7,772	△17.0%
セグメント利益	4,621	2,896	△ 1,724	△37.3%

売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



セグメント別業績



(百万円)

■産業機械事業

【売上高】

- 全世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の抑制状況は継続。
- 営業努力により主に中華圏にて5Gスマートフォン関連向けで新規顧客からの受注獲得。
- 次世代自動車関連（CASE等）向けなどの需要も継続

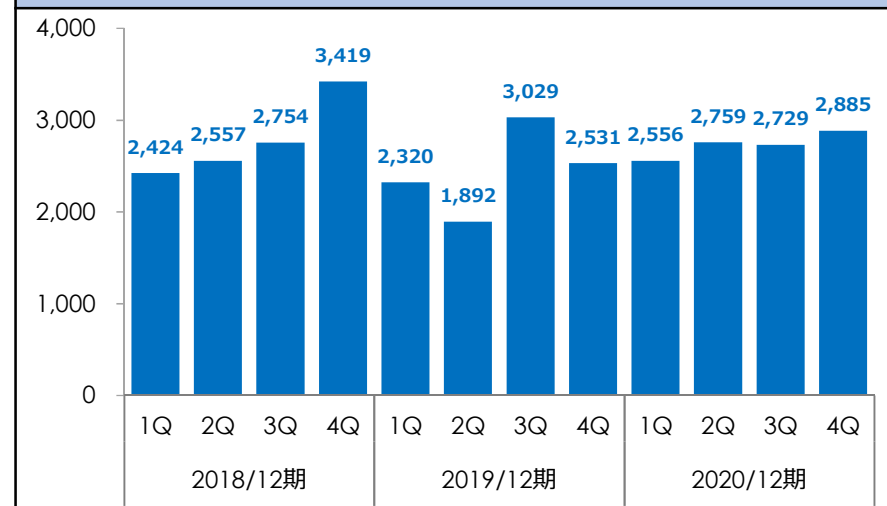
【セグメント利益】

- 高付加価値製品の販売が継続し、セグメント利益は前期比大幅に改善。

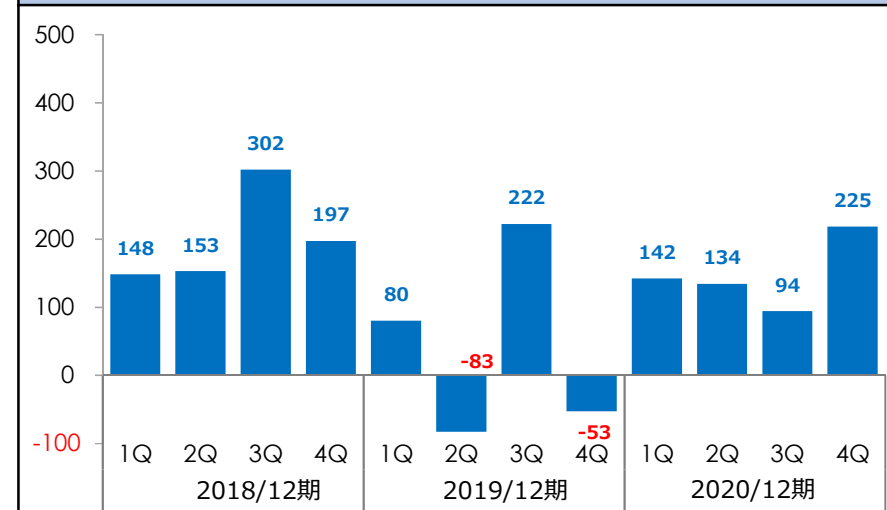
(百万円)

	2019年 12月期	2020年 12月期	増減	
			額	率
売上高	9,773	10,931	1,157	11.8%
セグメント利益	165	596	431	261.5%

売上高（四半期毎）



セグメント利益（四半期毎）



セグメント別業績



(百万円)

■ 食品機械事業

【売上高】

- 衛生面、省人化対応設備の需要継続、外出自粛に伴う巣ごもり需要に関連した需要増加。
- 新型コロナウイルス感染拡大により営業活動が制限され、複数案件において受注・売上時期が来期へ先送り。
- 第4四半期の売上高は想定を下回る結果。

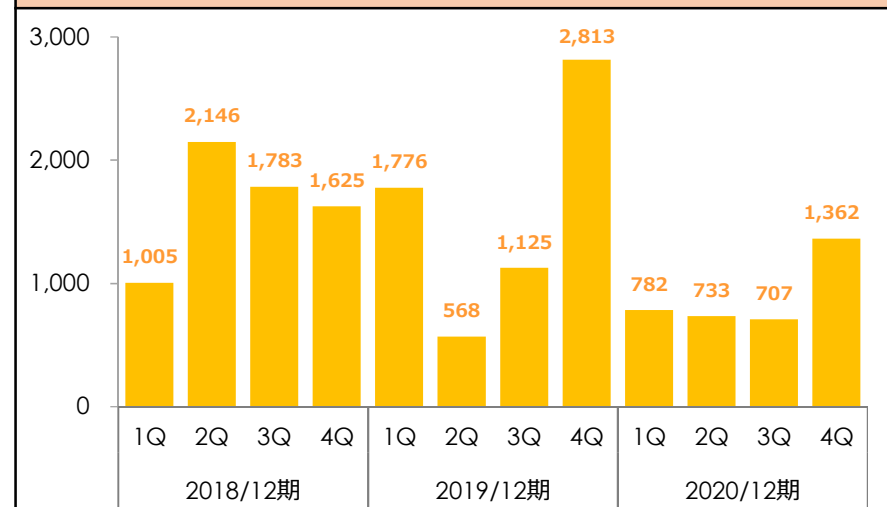
【セグメント利益】

- 売上低迷によりセグメント利益は低水準で推移。

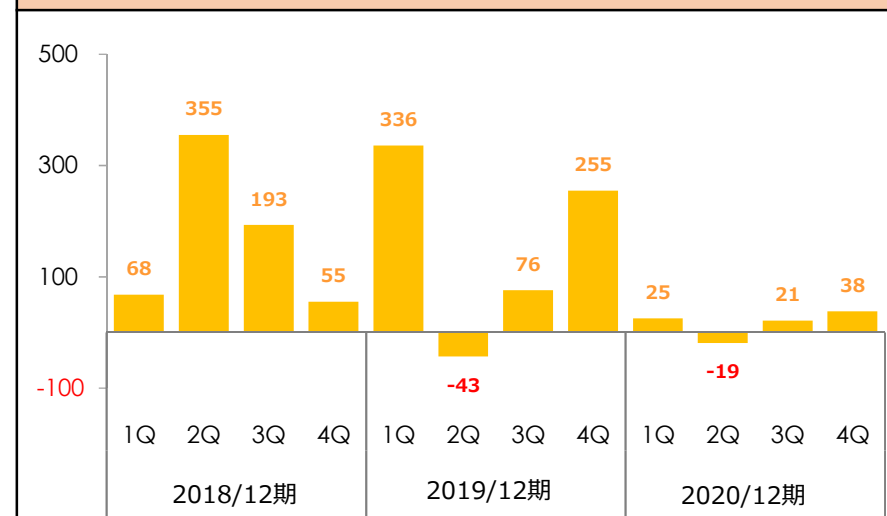
(百万円)

	2019年 12月期	2020年 12月期	増減	
			額	率
売上高	6,283	3,585	△ 2,697	△42.9%
セグメント利益	625	65	△ 559	△89.5%

売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



セグメント別業績



(百万円)

■ その他事業

【売上高】

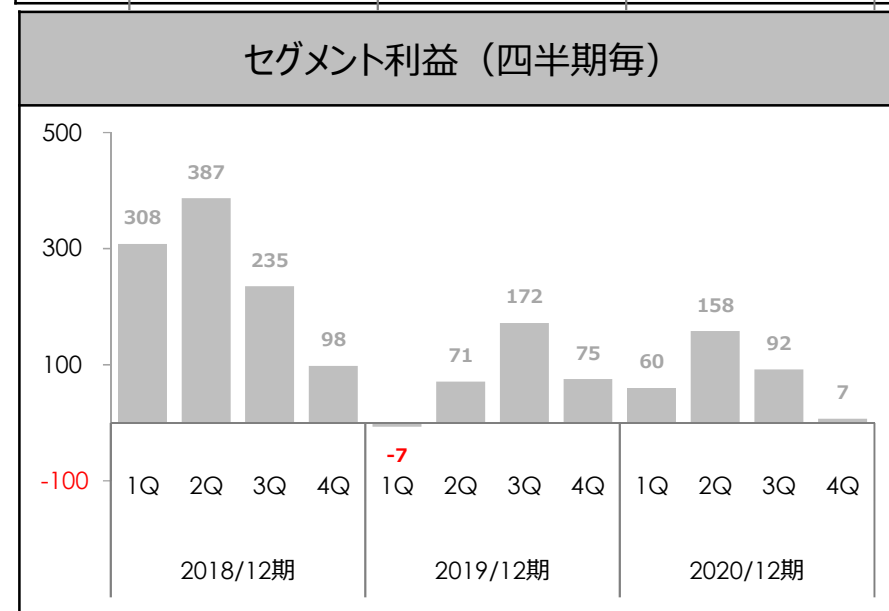
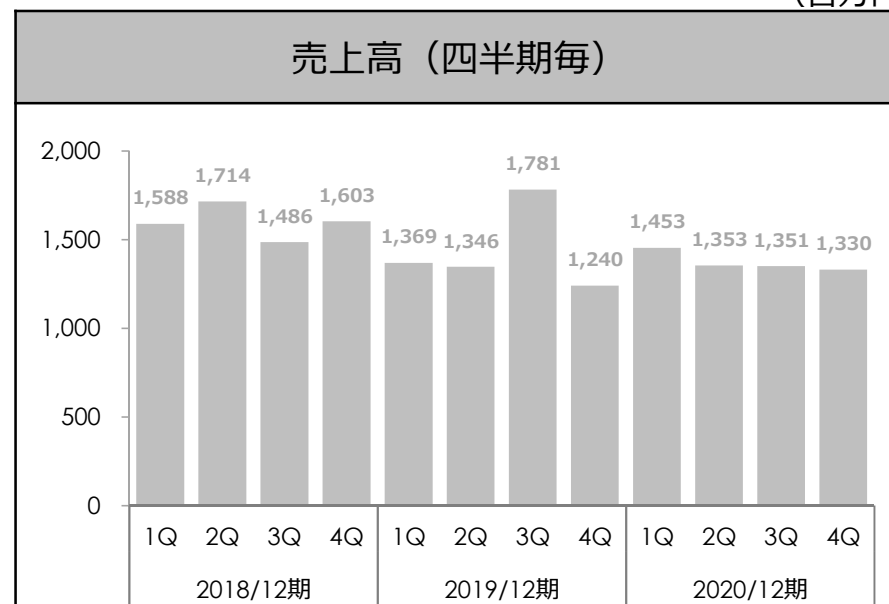
- 金型成形事業は、自動車産業の需要持ち直し。
- セラミックスは、新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワーク等の情報通信設備の需要増加を受け堅調。

【セグメント利益】

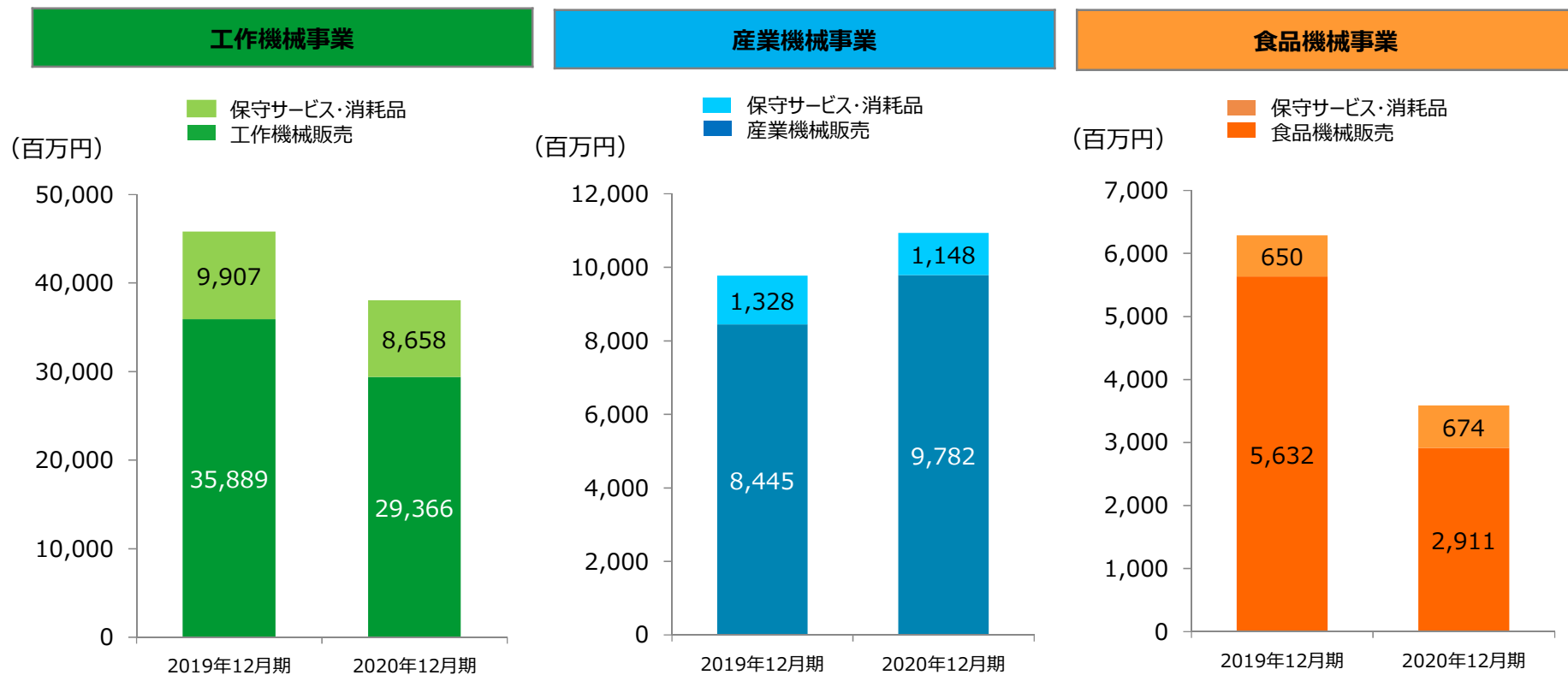
- 事業環境の悪化や研究開発投資により、収益性が低下していた前年同期と比較するとやや回復傾向にあるも、第4四半期に一時的費用が発生し、通期では前期比ほぼ横ばい。

(百万円)

	2019年 12月期	2020年 12月期	増減	
			額	率
売上高	5,737	5,488	△ 248	△4.3%
セグメント利益	311	319	8	2.7%



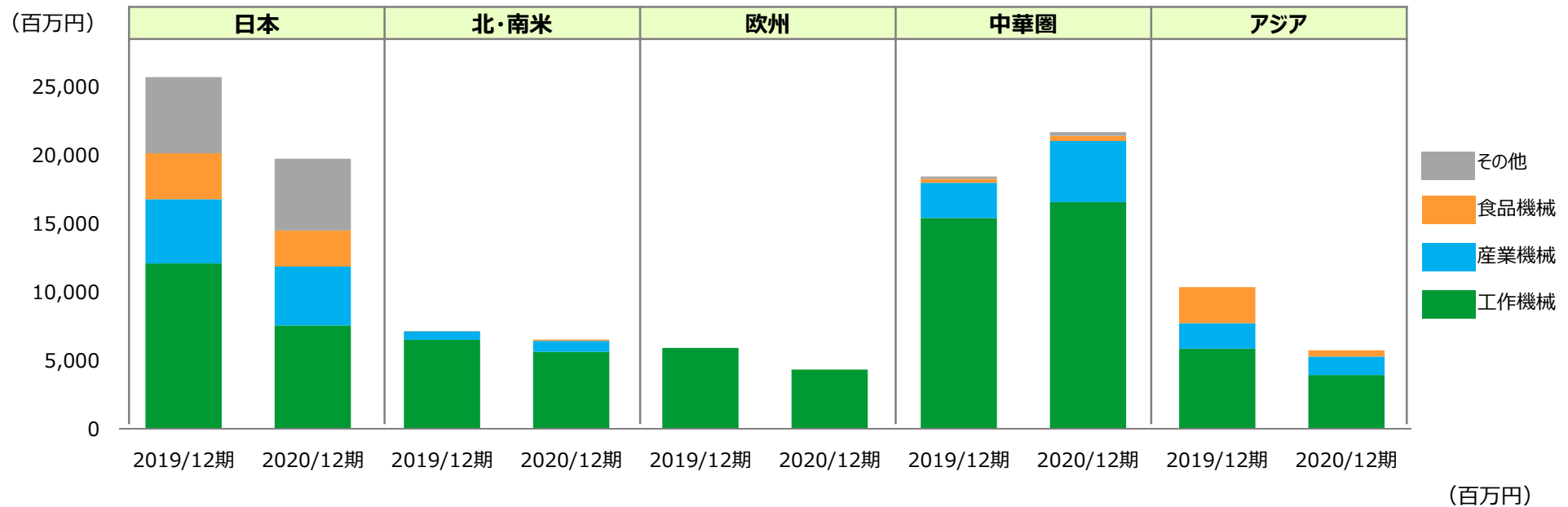
セグメント別 売上高内訳



	工作機械事業				産業機械事業				食品機械事業			
	2019年12月期		2020年12月期		2019年12月期		2020年12月期		2019年12月期		2020年12月期	
機械販売	35,889	78.4%	29,366	77.2%	8,445	86.4%	9,782	89.5%	5,632	89.6%	2,911	81.2%
保守サービス・消耗品	9,907	21.6%	8,658	22.8%	1,328	13.6%	1,148	10.5%	650	10.3%	674	18.8%
合計	45,797		38,024		9,773		10,931		6,283		3,585	

事業別海外売上高比率

✓ 中国以外の地域での売上高が大幅に減少。 海外売上高比率は 66.0%



2019年12月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	12,100	26.4%	6,504	14.2%	5,910	12.9%	15,421	33.7%	5,860	12.8%	45,797	67.7%
産業機械	4,693	48.0%	635	6.5%	-	-	2,567	26.3%	1,876	19.2%	9,773	14.5%
食品機械	3,347	53.3%	21	0.3%	-	-	290	4.6%	2,624	41.8%	6,283	9.3%
その他	5,566	97.0%	-	-	-	-	170	3.0%	-	-	5,737	8.5%
地域別 計	25,707	38.0%	7,162	10.6%	5,910	8.8%	18,450	27.3%	10,360	15.3%	67,591	100.0%

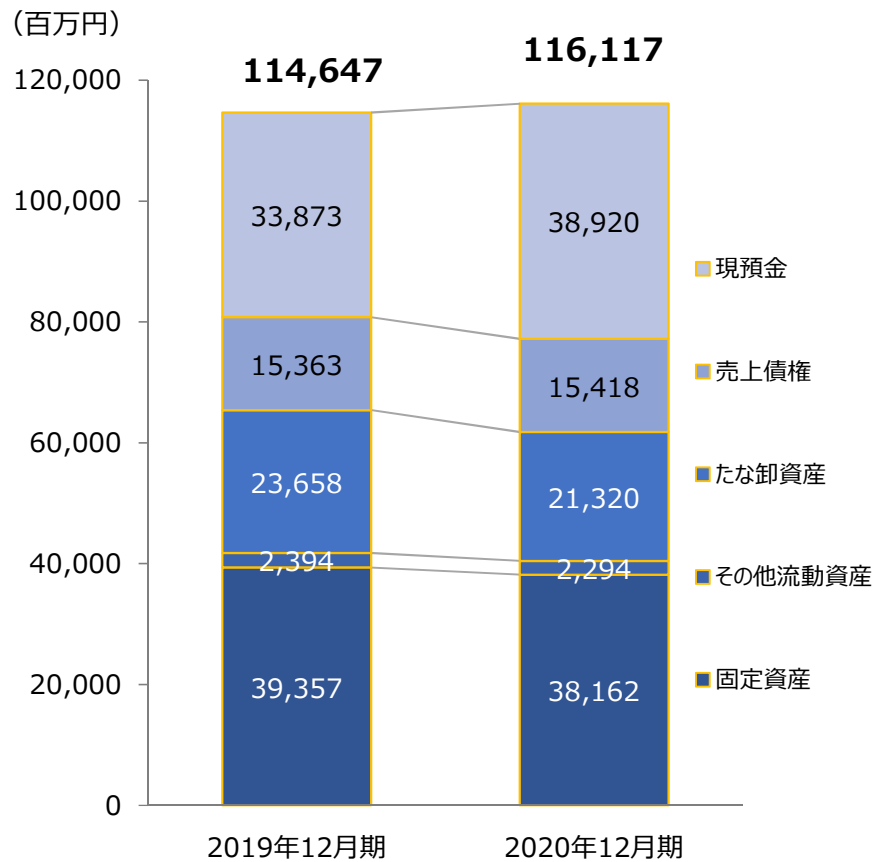
2020年12月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	7,551	19.9%	5,626	14.8%	4,336	11.4%	16,570	43.6%	3,939	10.3%	38,024	65.5%
産業機械	4,317	39.5%	804	7.4%	-	-	4,462	40.8%	1,346	12.3%	10,931	18.8%
食品機械	2,634	73.5%	103	2.9%	-	-	394	11.0%	453	12.6%	3,585	6.2%
その他	5,233	95.3%	-	-	-	-	255	4.7%	0	0%	5,488	9.5%
地域別 計	19,736	34.0%	6,534	11.2%	4,336	7.5%	21,683	37.4%	5,739	9.9%	58,030	100.0%

為替の影響額	-	△約 1.2 億円	僅少	△約 2.8 億円	△約 1 億円	△約 5 億円
--------	---	-----------	----	-----------	---------	---------

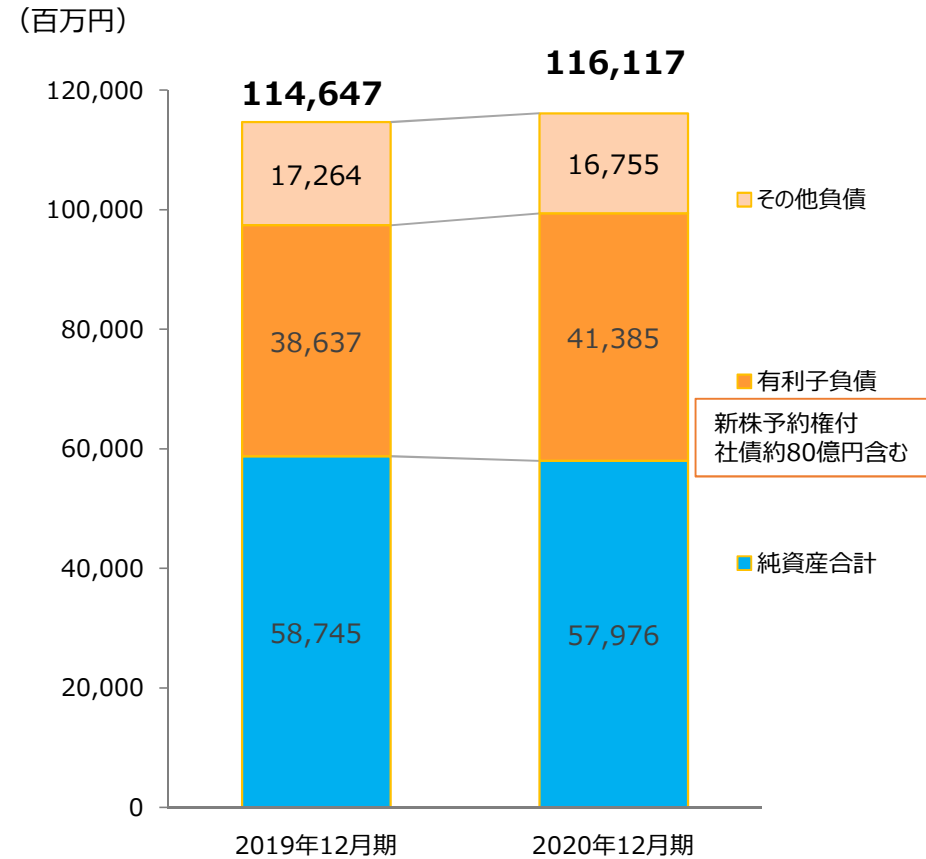
貸借対照表

- ✓ たな卸資産及び固定資産が減少するも、長期借入金等の調達により現預金が大幅に増加したことにより総資産は前期末比約15億円増加。
- ✓ 前期末に比べ円高に推移したことにより、海外子会社の資本金等の換算により生じる為替換算調整勘定が減少したことで、純資産は微減。

資産

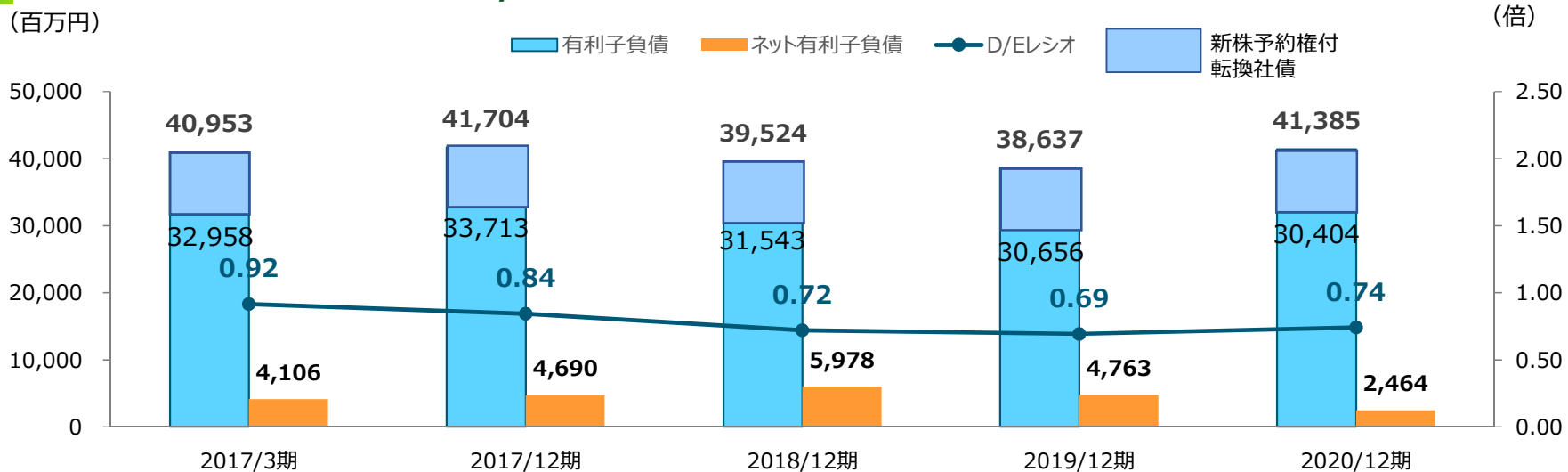


負債・純資産

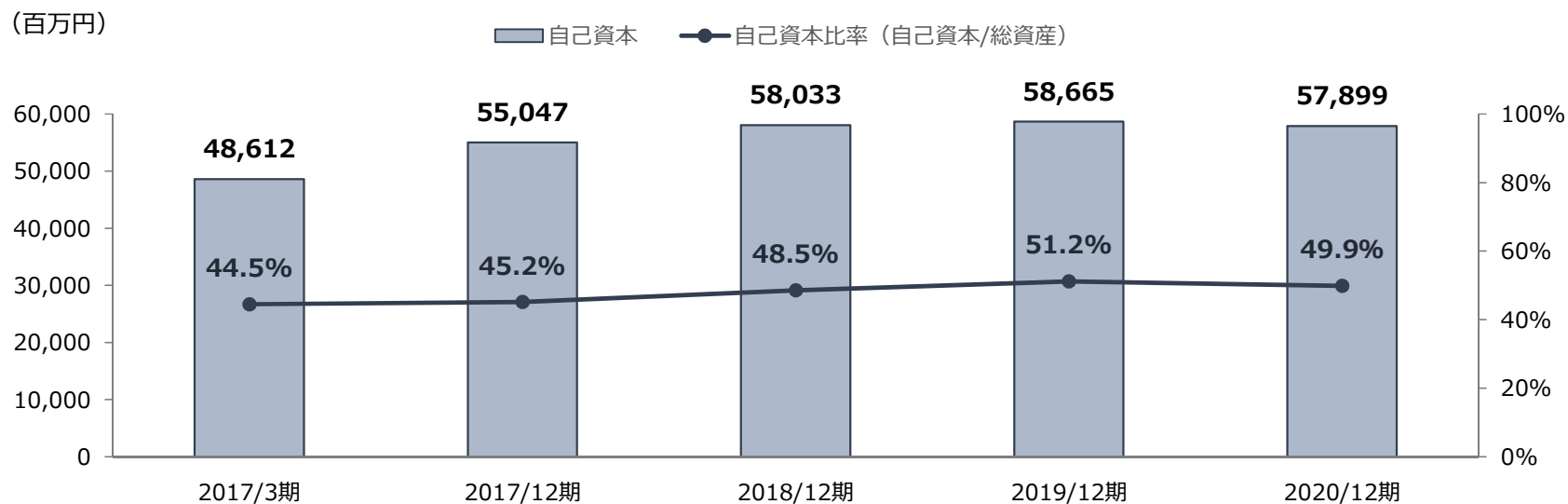


※参考情報 2020年12月末 為替レート ドル：103.50円 ユーロ：126.95円 人民元：15.88円 バーツ：3.44円
 2019年12月末 為替レート ドル：109.56円 ユーロ：122.54円 人民元：15.67円 バーツ：3.63円

有利子負債・ネット有利子負債・D/Eレシオ 推移



自己資本・自己資本比率 推移

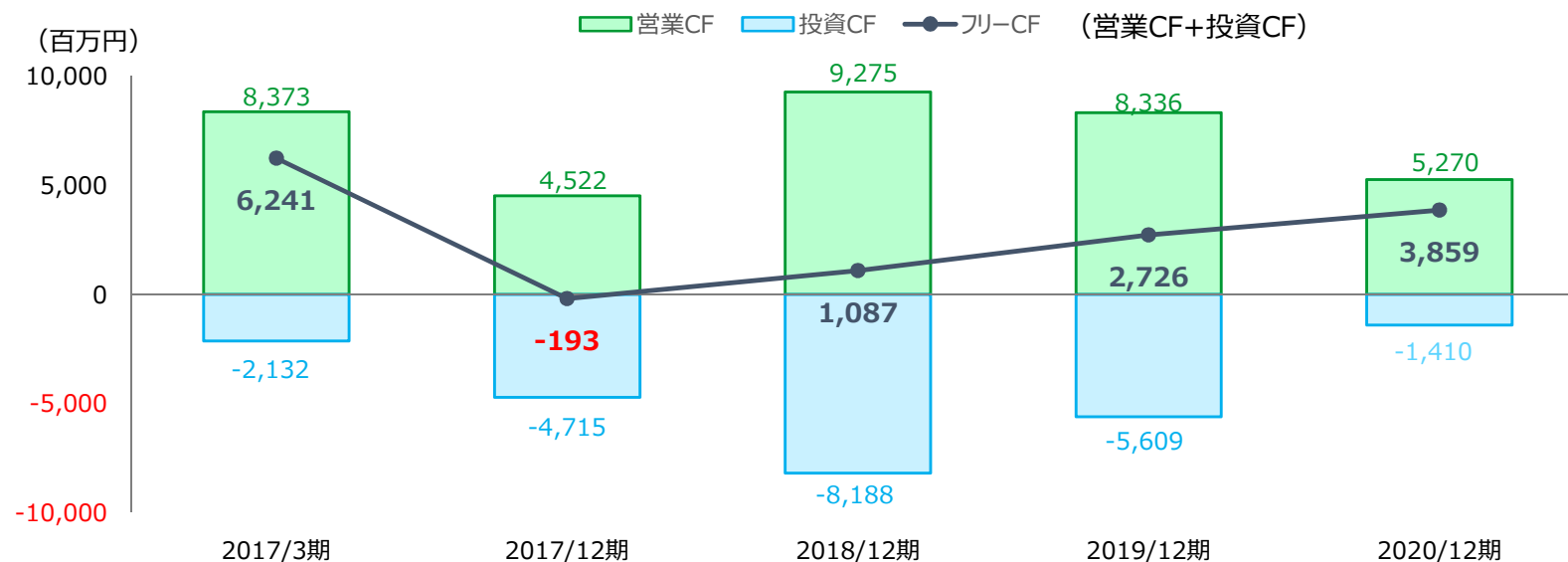


キャッシュ・フロー

- ✓ 営業キャッシュフローは税金等調整前純利益が減少するも、たな卸資産の減少等により52億70百万円のプラス。大きな設備投資もなく、フリーキャッシュフローは38億59百万円のプラス。
- ✓ 現金及び現金同等物の期末残高が大幅に増加（前期比 53億65百万円増）

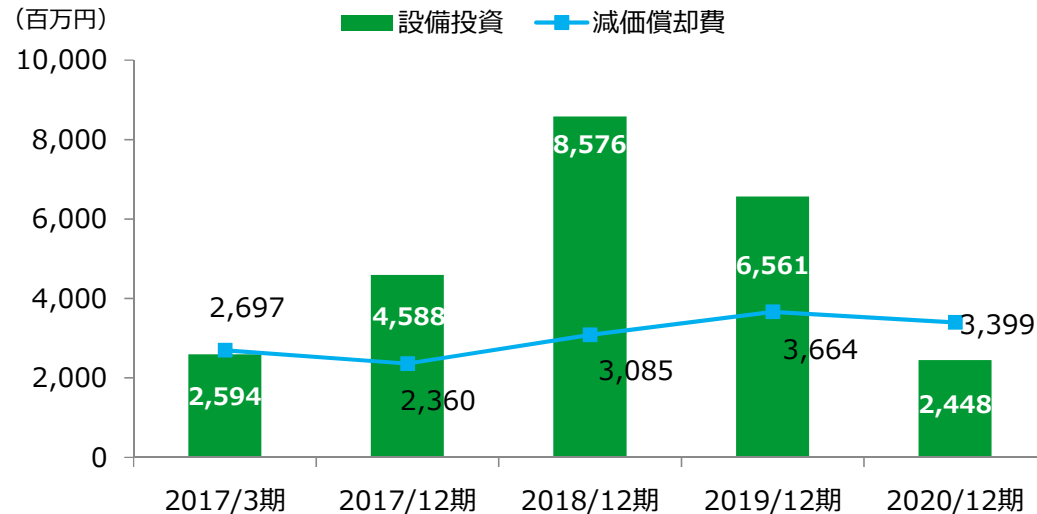
(百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,336	5,270	たな卸資産の減少 +約16億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,609	△1,410	有形固定資産の取得による支出 △約15億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,228	1,665	長期借入による収入 +125億円 長期借入金の返済による支出 △98億円 配当金の支払額 △11億円
現金及び現金同等物の期末残高	32,890	38,255	



設備投資／減価償却費／研究開発費

設備投資／減価償却費の推移



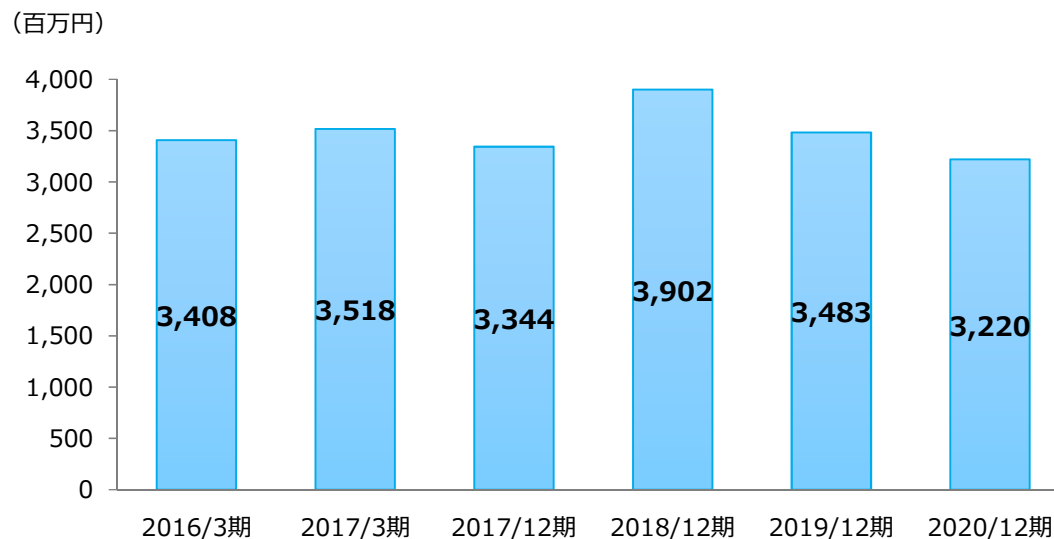
▶ 主な設備投資 (2020年12月期)

- ✓ 加賀事業所 生産設備更新
- ✓ 本社 試験研究設備
- ✓ 金型成形事業 自動化対応

▶ 減価償却費

- ✓ 2017年以降の設備投資拡大に伴い、減価償却費も高水準で推移。




研究開発費の推移



▶ 研究開発費 (2020年12月期)

- ✓ 新製品開発、金属3Dプリンタ関連、その他基礎研究、IoTや自動化対応関連の開発を継続。

2020年12月期リリース主な新製品

セグメント	工作機械		
<p>製品名</p>	<p>ワイヤ放電加工機 「AL i Groove Edition」</p> 	<p>細穴放電加工機 「K4HL」</p>  <p>2020年 「十大新製品賞 本賞」受賞</p>	<p>金属3Dプリンタ アルミ合金造形BMT</p> 
<p>販売市場</p>	<p>自動車、家電、IT、通信関連 等</p>	<p>航空宇宙・エネルギー、自動車、医療機器、電機・電子機器 等</p>	<p>自動車</p>
<p>製品特徴</p>	<p>①ワイヤ回転機構採用 →ワイヤを回転させることで未消耗のワイヤ線で加工でき、より高精度の加工が可能に。</p> <p>②段差加工の性能アップ</p> <p>③高速自動結線装置、中子処理装置など自動化対応</p>	<p>①リニアモータ駆動により、 高加速で俊敏な駆動を実現</p> <p>②加工中の電極貫通を自動検知による作業性の向上。</p> <p>③自動電極交換装置など、 自動化対応</p>	<p>LPM325でアルミニウム合金「AlSi10Mg」の造形が対応可能に。 同時にベンチマークテストサービスを開始</p>

2020年12月期リリース主な新製品



セグメント	産業機械	食品機械	
<p>製品名</p>	<p>縦型ロータリ式 射出成形機 「TR40VRE2」</p> 	<p>不活性ガス溶解 射出成形システム 「INFILT-V」</p> 	<p>大型2軸ミキサ「TM-350W」</p> 
<p>販売市場</p>	<p>精密・電機・電子機器、自動車 等</p>	<p>生分解性プラスチック 脱プラ、環境対応製品</p>	<p>高品質即席麺、 チルド麺 等</p>
<p>製品特徴</p>	<p>精密成形品のさらなる生産性向上を実現</p> <p>①対応可能な金型（成形品）サイズの拡大</p> <p>②テーブルを低床化し、作業負担軽減</p> <p>③テーブル回転時間短縮によるハイサイクル化</p>	<p>生分解性プラスチックの生産性向上</p> <p>不活性ガスを射出プランジヤに直接注入。 →ガスを樹脂材料に溶解させ、その粘度が低下する現象を利用し、従来では困難な薄肉成形が可能に。</p>	<p>①攪拌軸を2軸搭載→練り性能向上。高品質麺生地製造可能。</p> <p>②大型機 →1回の練り量は小麦粉350kg。大容量の生産に適応。</p>

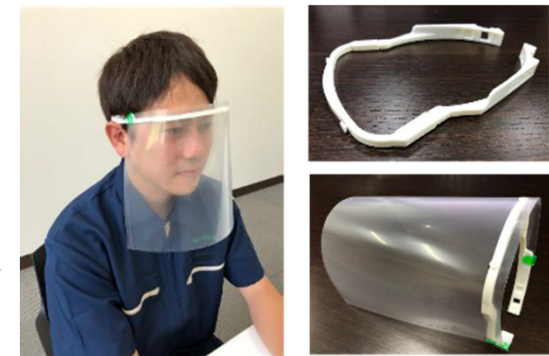
新型コロナウイルス感染拡大に対する当社の対応状況

✓当社 主要拠点での稼働状況は以下の通り（2/12現在）

拠点	稼働状況
日本	公共交通機関利用を一部制限、在宅勤務推進を継続。 2020年8月以降、数日間の一時帰休を実施（2021年2月末まで実施継続予定）
欧米	出社と在宅勤務のローテーションを実施
中国	通常稼働
アジア	タイ工場の生産調整も終了し、現在は通常稼働

✓当社グループでの対応

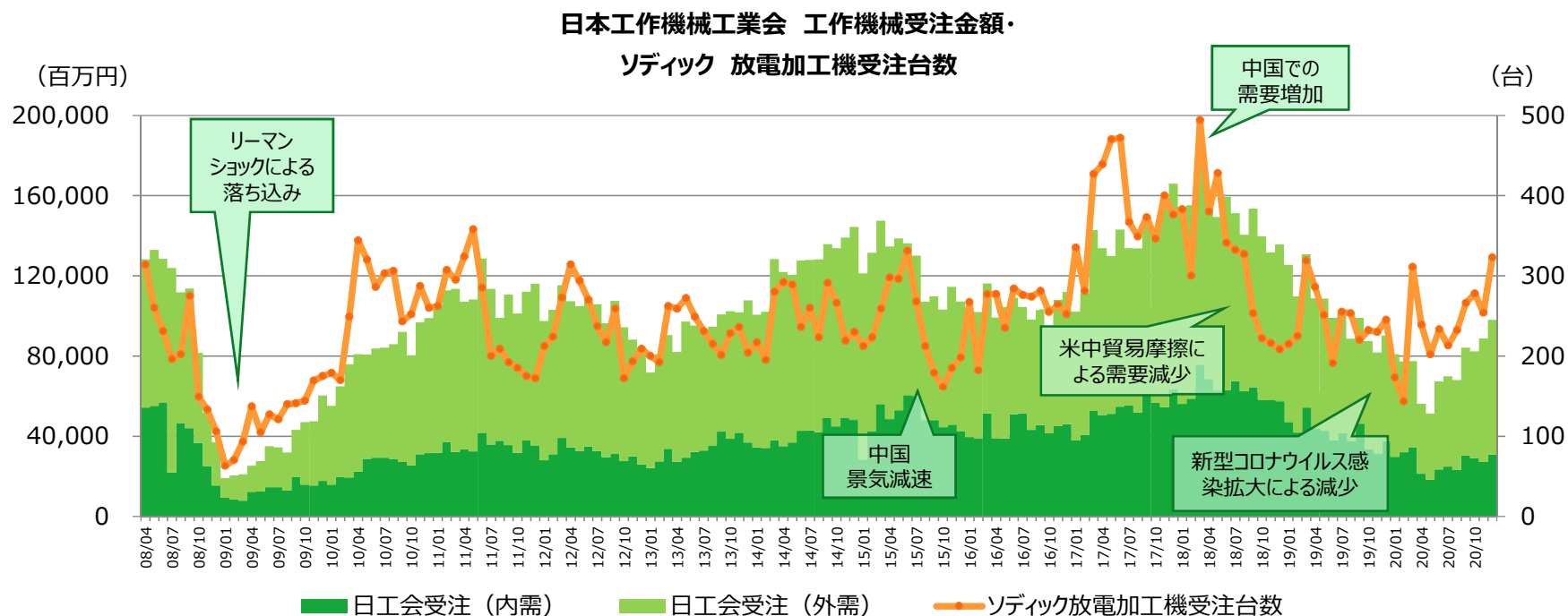
- ・ 需要減少に合わせた生産調整（タイ工場の稼働日調整）による在庫水準の適正化
- ・ 調達先の見直し及び内製化の強化等、サプライチェーンの抜本的な見直し
- ・ 当社における国内全社員を対象とした一時帰休の実施
- ・ 全社レベルでの経費削減の徹底
- ・ 一部グループ会社における給与減額
- ・ 出張（国内・海外）の原則禁止
- ・ 在宅勤務、時差通勤、Web会議等の利用促進
- ・ 学校の臨時休校に伴う特別休暇の付与
- ・ Web展示会やリモートツール等を活用した営業活動及びサービス体制の強化
- ・ 安全衛生面の徹底（マスク着用、検温、アルコール消毒、食堂利用時間の制限、外部との接触の自粛等）
- ・ フェイスシールド用フレームの生産及び従業員への配布並びに医療関係・各種公共機関、スポーツ関連施設・団体などへの供給



▲Face Tech

- I. 2020年12月期 決算概要
 - II. 2021年12月期 業績予想**
 - III. 株主還元
 - IV. 中期経営計画
- (参考資料)

- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要のほか、次世代自動車や5G関連向けなどの需要は期待できるも、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、設備投資マインドの低下や投資見送り傾向もあり、先行き不透明。
- ✓ 北米・欧州：新型コロナウイルスの感染再拡大による事業活動への影響が懸念。
自動車関連には回復傾向が見られるものの、航空宇宙関連においては厳しい状況となる見通し。
- ✓ 中国：全世界的な新型コロナウイルスの感染拡大や、米中関係の悪化など、先行きは不透明感あるも、5G、半導体、自動車関連等でものづくりの高度化や自動化ニーズの高まり等あり、高精度機の需要継続見込み。
- ✓ アジア：地域別に濃淡あるも、依然として厳しい状況が継続する見込み。



出典：日本工作機械工業会

2021年12月期 通期業績予想



- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響は不透明感が残るも、自動車業界での軽量化・電装化ニーズ・脱ガソリンへの動きや、5G普及に向けたシステム高度化に伴い、高精度加工機のニーズは高まる見込み。

(百万円)

	2020年12月期 通期		2021年12月期 通期		増減	
	実績	利益率	計画	利益率	金額	増減率
売上高	58,030	-	65,400	-	7,369	12.7%
営業利益	1,852	3.2%	4,100	6.3%	2,247	121.3%
経常利益	2,046	3.5%	4,100	6.3%	2,053	100.3%
当期純利益	1,346	2.3%	3,000	4.6%	1,653	122.7%

期中平均 為替レート	ドル	106.76円		104.00円		
	ユーロ	121.88円		122.00円		
	人民元	15.48円		15.50円		
	バーツ	3.42円		3.40円		

2021年12月期 通期業績予想 (セグメント別)



(百万円)

		2020年12月期	2021年12月期	増減	
		実績	計画	金額	率
売上高	● 工作機械事業	38,024	41,200	3,175	8.4%
	● 産業機械事業	10,931	10,300	△ 631	△5.8%
	● 食品機械事業	3,585	6,500	2,914	81.3%
	● その他事業	5,488	7,400	1,911	34.8%
		58,030	65,400	7,369	12.7%
セグメント利益	● 工作機械事業	2,896	4,800	1,903	65.7%
	● 産業機械事業	596	500	△ 96	△16.2%
	● 食品機械事業	65	300	234	356.6%
	● その他事業	319	700	380	118.8%
		3,878	6,300	2,421	62.4%
調整額		△ 2,025	△ 2,200	△ 174	-
営業利益 合計		1,852	4,100	2,247	121.3%

工作機械事業

- ✓ 中国を中心に5G、半導体関連需要は回復継続。CASEなど次世代自動車関連の推進を受けたものづくりの高度化による高精度機の需要は好調となる見込み。
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大、都市封鎖等による経済の減速からの脱却も期待でき、設備投資需要は回復基調の見込み。

産業機械事業

- ✓ 5G関連部品、レンズ向け、次世代自動車関連向けの需要堅調継続
- ✓ 一方、競合との競争環境が厳しさを増す懸念もあり。

食品機械事業

- ✓ 前期から翌期に先送りとなった案件のほか、製麺機や米飯装置、自動化対応設備等の需要が拡大する見込み

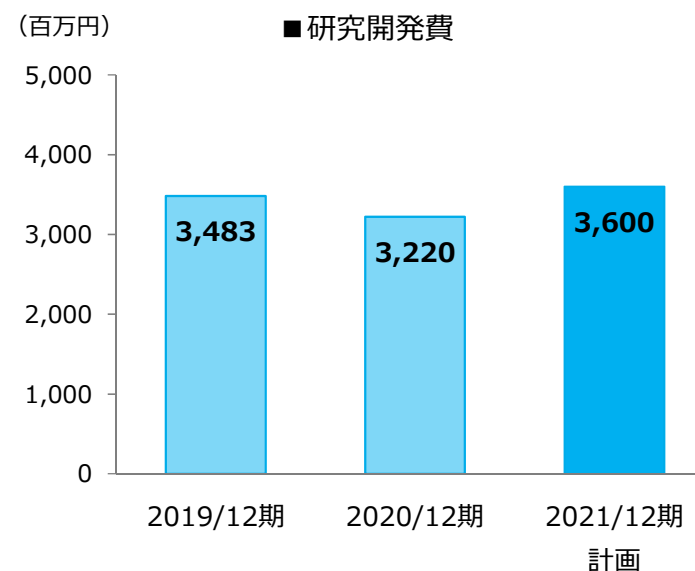
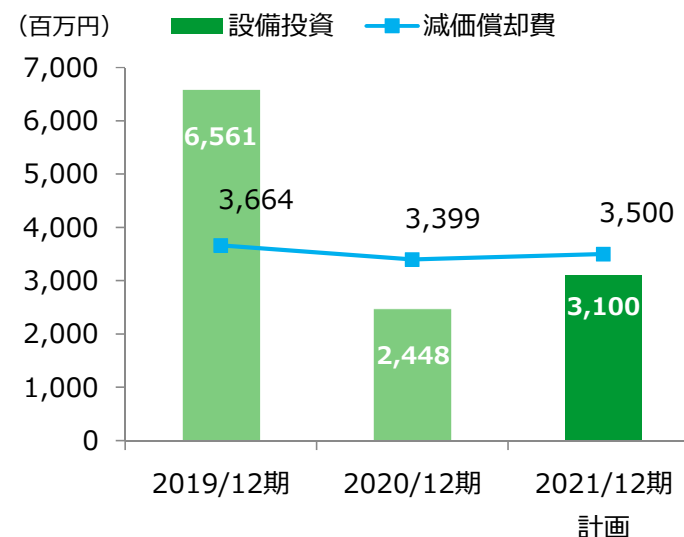
その他事業

- ✓ 金型成形事業は自動車産業での成形アイテムの拡充により需要拡大見込み。
- ✓ セラミックス外販は情報通信設備需要増に伴い、堅調継続の見込み。

設備投資／減価償却費／研究開発費 計画



2021年計画	
設備投資	<p>31億円（前期比+約6.5億円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アモイ工場 生産能力増強 ・生産性向上に向けた生産設備の導入・更新
減価償却費	<p>35億円（前期比+約1億円）</p>
研究開発費	<p>36億円（前期比+約3.8億円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新電源、次世代CNC等の要素技術、次世代工作機械の開発 ・金属3Dプリンタ関連の研究開発

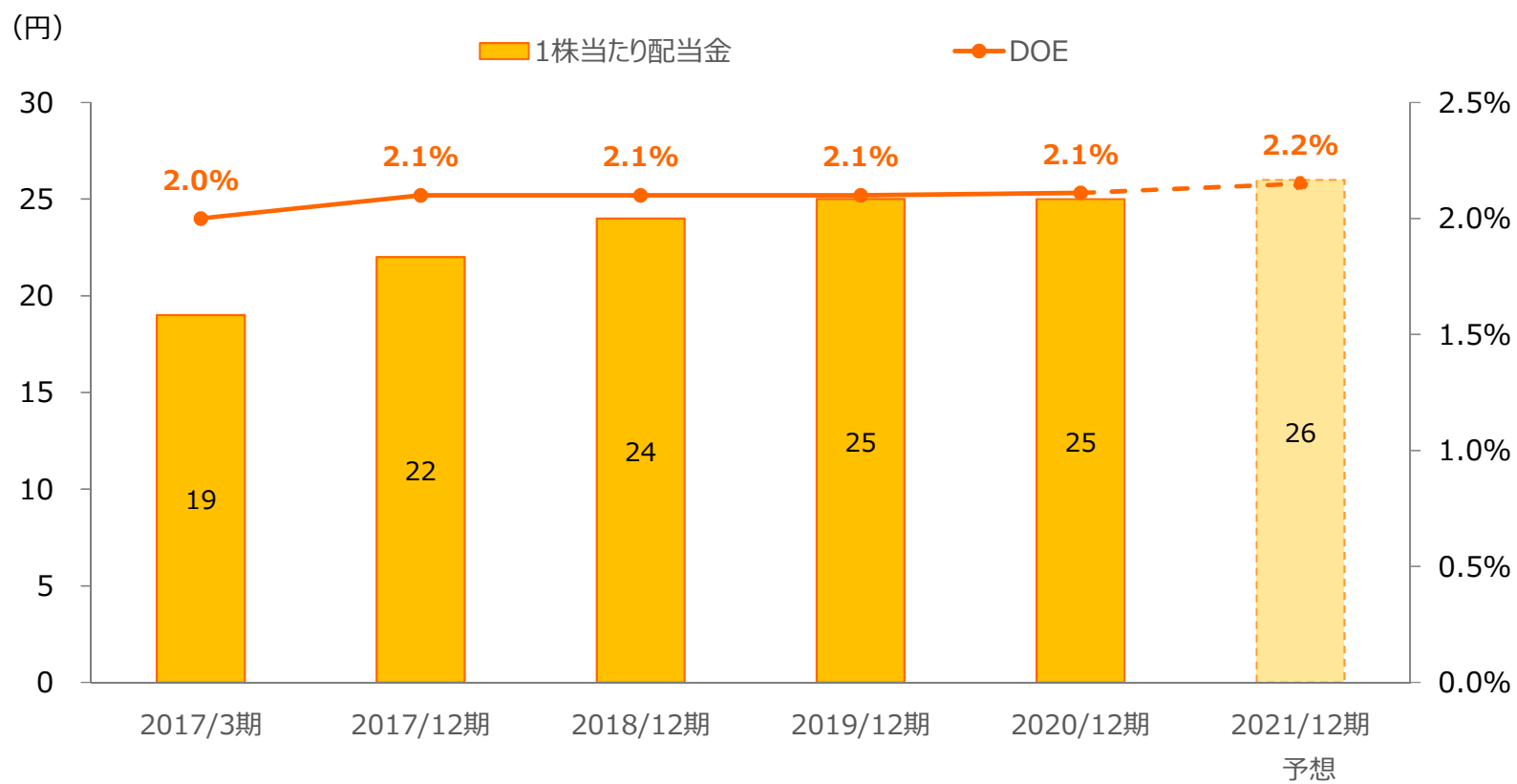


- I. 2020年12月期 決算概要
 - II. 2021年12月期 業績予想
 - III. 株主還元**
 - IV. 中期経営計画
- (参考資料)

株主還元方針及び配当予想

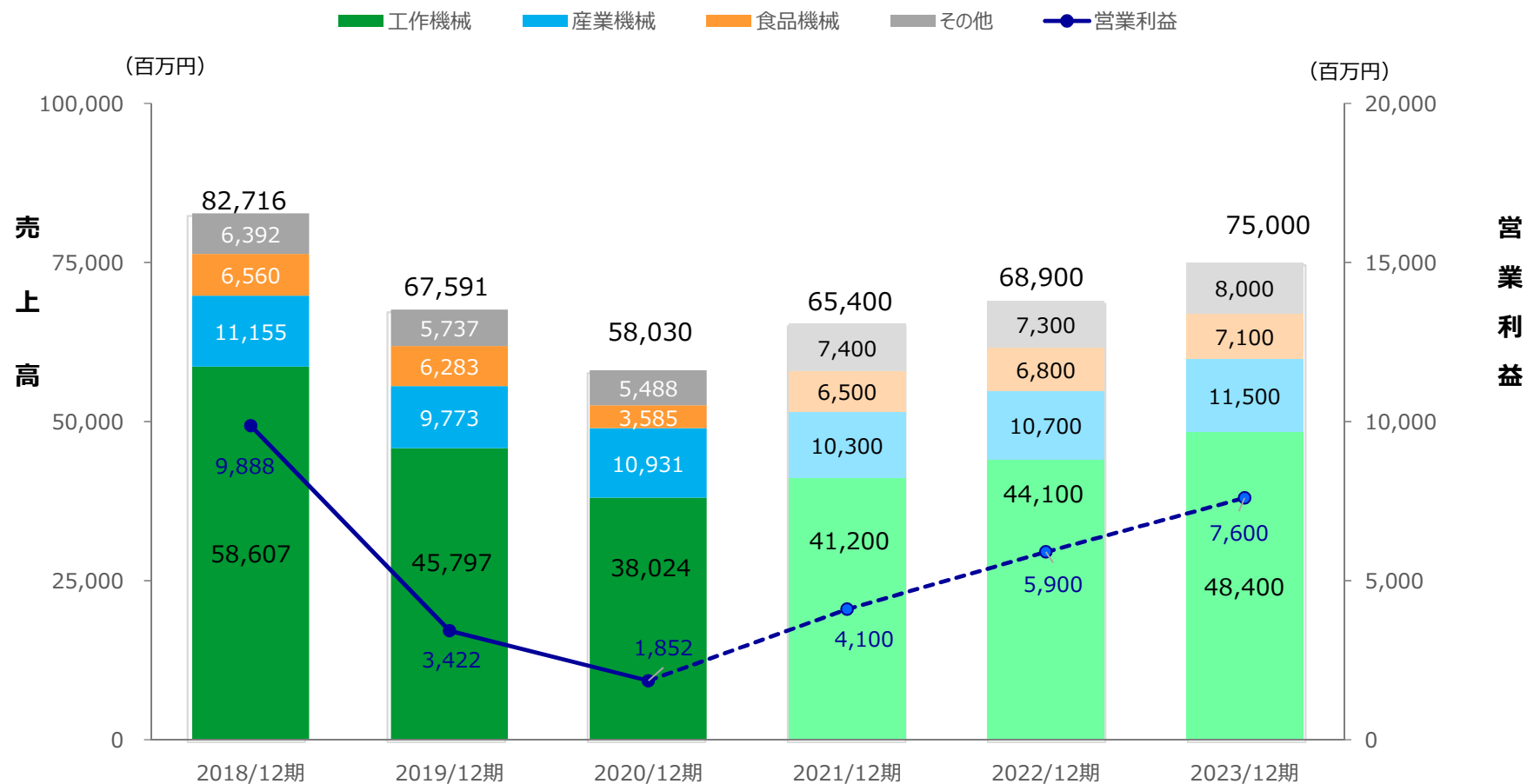


- ✓ 配当方針：株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2020年12月期の年間配当は、25円の予定（中間12円、期末13円）
- ✓ 2021年12月期の年間配当は、26円の予定（中間13円、期末13円）



- I. 2020年12月期 決算概要
 - II. 2021年12月期 業績予想
 - III. 株主還元
 - IV. 中期経営計画**
- (参考資料)

2023年12月期までに、売上高750億円、営業利益76億円を展望。



実績

計画

工作機械事業 方針

【販売戦略】

- ・ 事業の総合的なサービス化/デジタル化/ソリューション提供
- ・ デジタルマーケティングの推進
- ・ アフターサービス事業の強化
- ・ 成長市場での販売体制の強化

【技術戦略】

- ・ 放電加工機の性能・操作性の向上
- ・ 金属3Dプリンタの性能向上
- ・ 精密マシニングセンタの開発

【生産戦略】

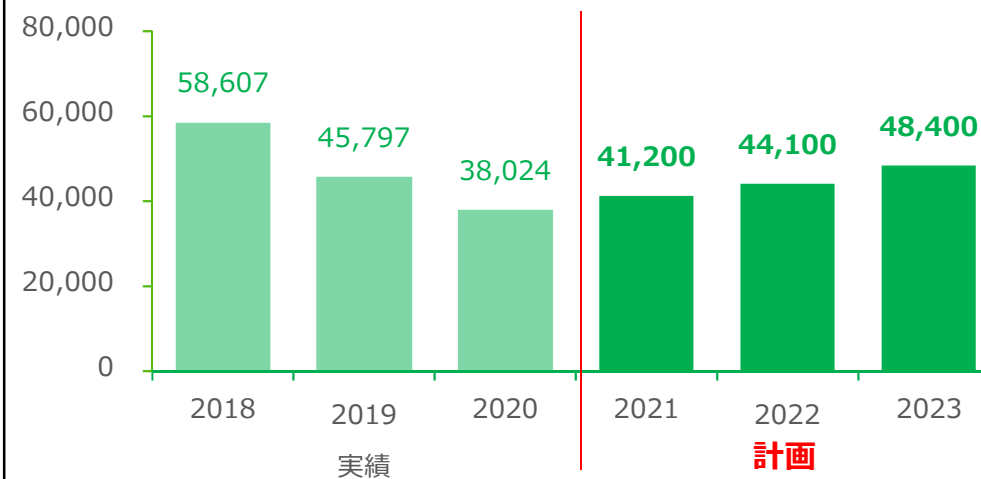
- ・ 生産体制の最適化
- ・ IoTの自社工場での運用

【組織・人事戦略】

- ・ 事業管理体制の見直し
- ・ 開発、製品設計、生産技術、加工技術等の人材育成

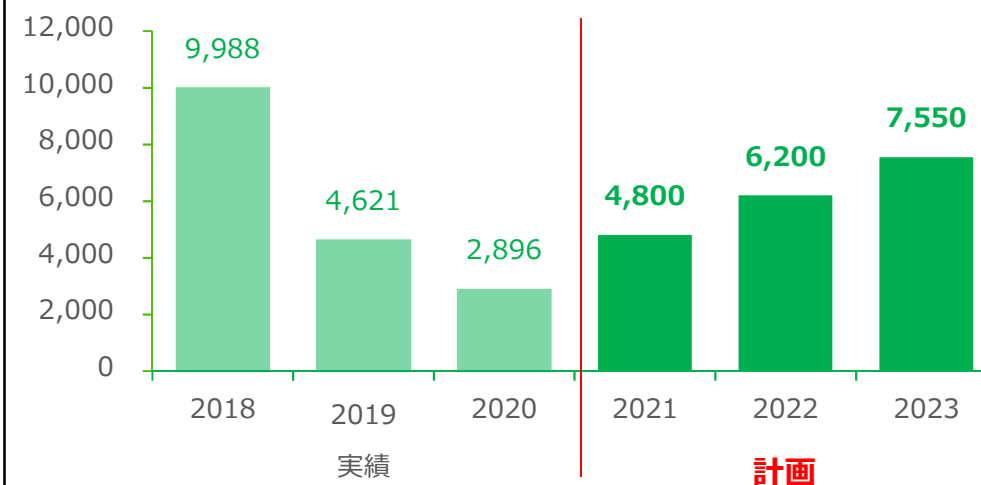
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



産業機械事業 方針

【販売戦略】

- ・製品ラインナップの見直し
- ・成長市場での販売体制の強化
- ・環境配慮製品の拡販

【技術戦略】

- ・性能・操作性の向上
- ・新素材への対応

【生産戦略】

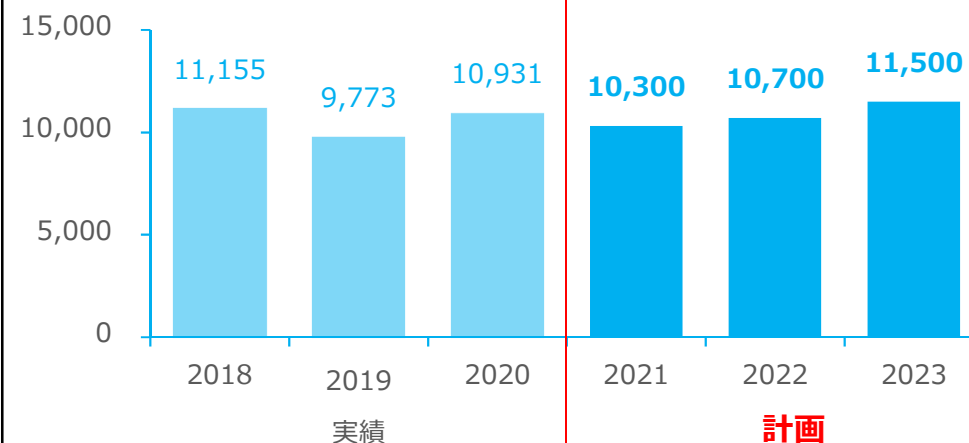
- ・アルミニウム対応成形機の早期量産化
- ・中国工場での射出成形機生産
（地産地消によるコストダウン）
- ・電動射出成形機の原価低減

【組織・人事戦略】

- ・事業管理体制の見直し
- ・開発、製品設計、生産技術、加工技術等
の人材育成

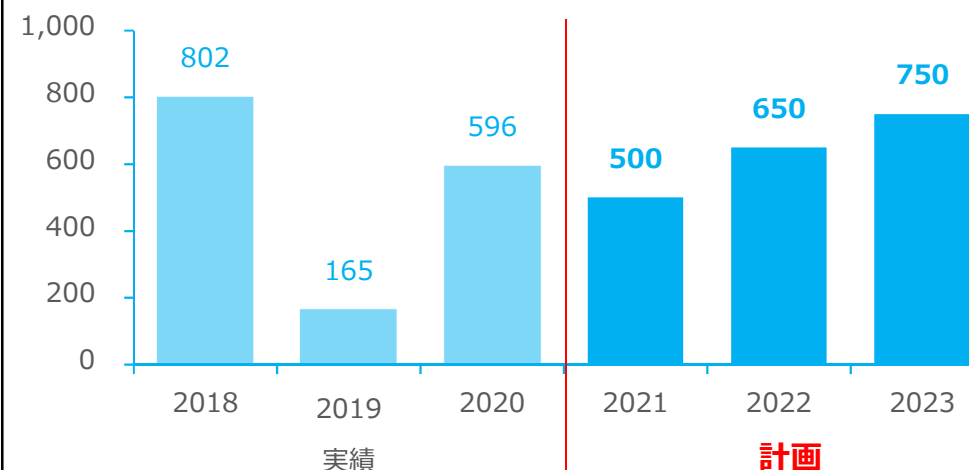
売上高

（百万円）



セグメント利益

（百万円）



食品機械事業 方針

【販売戦略】

- ・ 事業領域の拡大による業績アップ
- ・ 海外販売強化

【技術戦略】

- ・ 事業領域拡大に向けた研究開発
- ・ 省エネルギー製品の開発

【生産戦略】

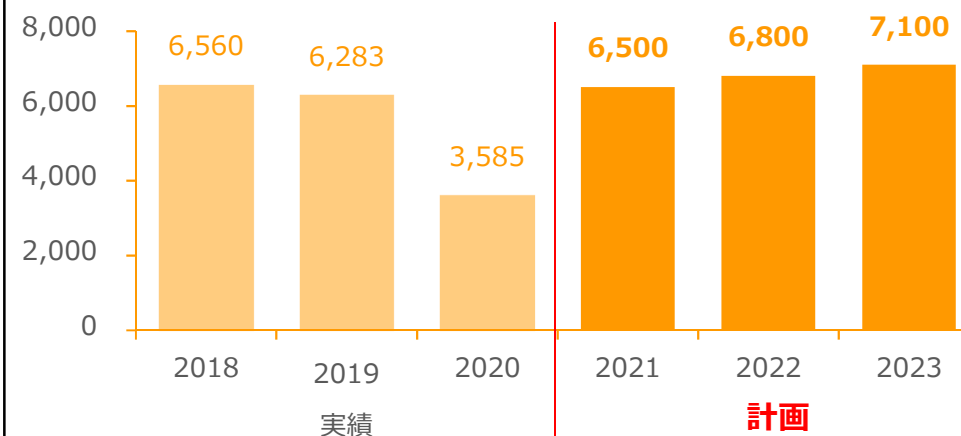
- ・ 廈門工場の生産能力増強による海外生産拡充

【組織・人事戦略】

- ・ 海外生産拡充に伴う立上要員確保
- ・ アフターサービス人員の拡充

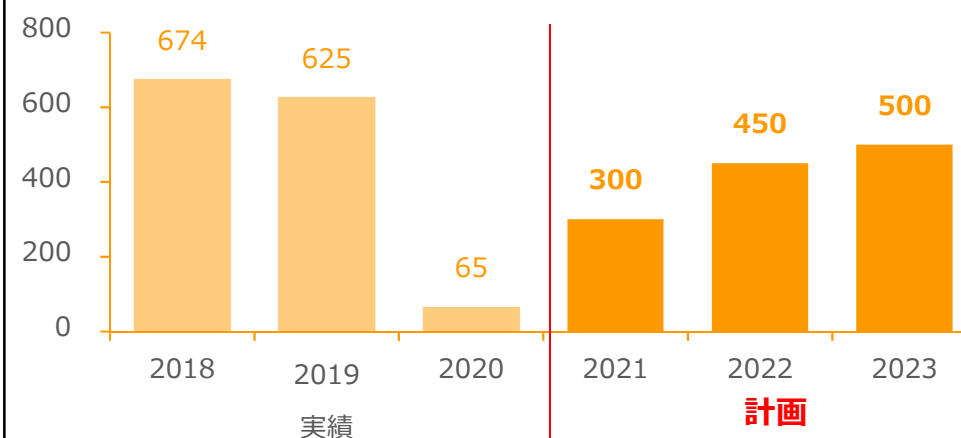
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



その他事業 方針

【セラミックス】

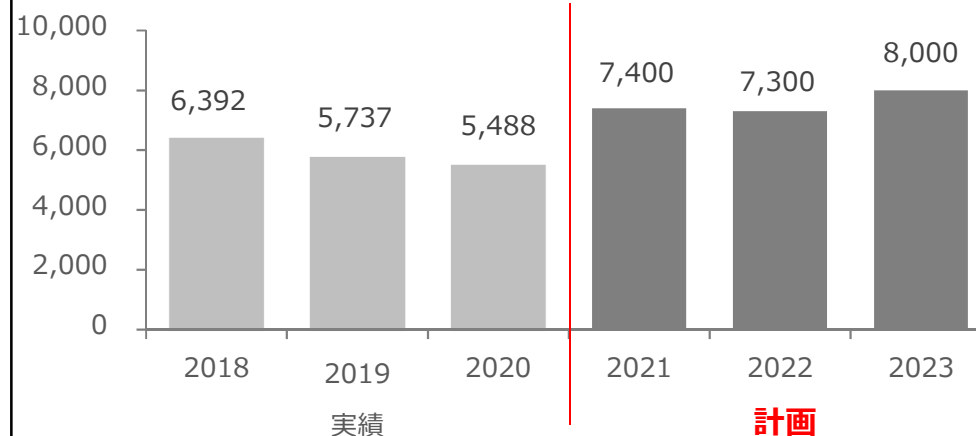
- ・半導体製造装置向けセラミック部品の拡販
- ・高付加価値分野への販路拡大

【金型成形】

- ・金属3Dプリンタ及び専用射出成形機「MR30」を活用した生産システムの運用
- ・セル生産システムによる安定生産・省力化・原価低減
- ・自動車関連向けの生産アイテム拡充

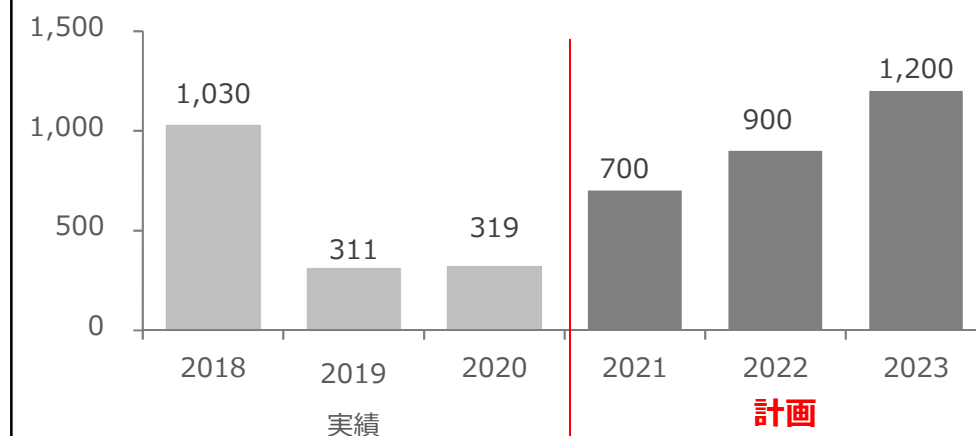
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



経営基盤 方針

【経営管理体制の改革】

- ・ 事業管理体制の再構築
- ・ 事業のソリューション化に向けた基盤の整備

【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】

- ・ 各種システムの高速度と高度化
- ・ 生産管理システムを活用した生産の効率化・高度化
- ・ RPAの活用による事務オペレーションの業務効率改善

【働き方改革の推進】

- ・ 新人事評価制度の運用及び人材育成制度の確立
- ・ 多様な働き方での働きやすい環境づくり
- ・ 多様な人材の採用、確保

【人材育成制度】

- ・ 人材育成制度の確立
新入社員研修、階層別研修、
海外研修制度、外国人技能実習生の受け入れ等
- ・ 次世代リーダーの育成

- I. 2020年12月期 決算概要
- II. 2021年12月期 業績予想
- III. 株主還元
- IV. 中期経営計画

(参考資料)

【参考資料】 国内外の拠点



- 本社
- 生産拠点
- 開発拠点
- 販売・サービス拠点

【参考資料】 主な展示会への出展情報

会期	開催地		展示会	概要・備考
2021年				
3/30~4/2	中国	深圳	SIMM (中国(深圳)国際機械製造工業博覧会)	
4/12~17	中国	北京	CIMT (中国国際工作機械展覧会)	世界的工作機械見本市の一つ
4/26~29	米国	シカゴ	Rapid	3Dプリンティング技術に関する展示会
4/28~5/1	インド	ムンバイ	Die & Mould India	
5/20~22	日本	金沢	MEX金沢 (第58回機械工業見本市金沢)	
5/26~28	中国	上海	TCT	3Dプリンティング技術に関する展示会
6/1~4	日本	名古屋	FOOMA JAPAN 2021	食品機械展示会
6/23~26	タイ	バンコク	INTERMOLD THAI	
6/23~26	マレーシア	クアラルン プールの	METALTECH 2021	

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、展示会への出展予定が変更となる場合があります。

【参考資料】 自社Web展示会

当社HP URL : <https://www.sodick.co.jp/>

□ 自社Web展示会では動画を交えて最新鋭機、最新技術をご紹介

※動画は全て音声が流れます

 <p>AL i Groove Edition 新開発！ワイヤ回転機構 スペシャルアニメーション</p>	 <p>AL i Groove Edition 総合的加工性能を極める「AL i Groove Edition」</p>	 <p>K4HL 省スペースのフルオート細穴加工機「K4HL」</p>	 <p>K4HL 「K4HL」自動化フルオプション付様ムービー</p>
 <p>AL40G / AL60G リニアモータ駆動 高速・高性能 精密形彫り放電加工機「AL40G /</p>	 <p>S3CORE Simple, Stable, Safety! 自動中子処理装置「S3CORE」</p>	 <p>カメラ式機上測定システム ワイヤ放電加工機ALシリーズ 簡単操作のカメラ式機上測定</p>	 <p>Sodick World Tour IPF Web Exhibition</p> <p>AI-VENT 公開中 NRPs 公開中 INFILT-V 公開中 MS50 MS100 完全自動成形 公開中 MR30 TRA40VRE2 バスバーモジュール 成形公開中 ソディックブースに入ろうぞ!</p>

お問合わせ
詳しい資料・お見積もり・加工のご相談など、なんでもお問合わせください!

□ 当社グループの海外拠点に関するコンテンツも多数展開

 <p>Sodick Singapore Company Profile</p> <p>企画 Sodick World Tour 「Singapore」編 ソディック・シンガポールを動画で紹介します。(YouTube、音声有り)</p>	 <p>Sodick Vietnam</p> <p>企画 Sodick World Tour 「Vietnam」編 ソディックのベトナム本社を動画で紹介いたします (YouTube、英文のみ、音声あり)</p>	 <p>Sodick Europe</p> <p>企画 Sodick World Tour 「Europe」編 ソディックのヨーロッパ本社を動画でご紹介します (YouTube、英文のみ、音声あり)</p>
---	---	--

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835